

しかプロ 第4回公演 (安城市民演劇祭参加作品)

「とばないで！フライヤーズ」

脚 本 四 方 香 菜

登場人物

飛川 とびかわ 劇団フライヤーズの座長。芝居に熱い思いは持っているが人付き合いが苦手。劇団運営は下手。

深山 みやま 劇団古参メンバー。飛川の唯一(?)の理解者。

隼人 はやと 若手俳優。2年ほど前に入団するも本公演は今回が初めて。

つばめ 新人俳優。隼人の紹介で入ってきたばかり。

亘 わたり 劇団メンバーの近くにいつもいる男性。団員かどうかは不明。

音響 座付きの音響。うっかりやさん。

やめていった団員たち

劇的な音楽

幕が開くと、そこには4人の戦士たちの姿

勇者・魔法使い・僧侶・踊り子……のようだが、魔法使い以外は衣装が適当で、ジャージに布を巻いただけのように見える。

勇者（隼人）　いくぞっ！ファイナルアルティメットソード！

踊り子（深山）　ライトニングステップ！

魔法使い（つばめ）　アースウインドアンドファイア！

僧侶（亘）　……ホイミ！

それぞれになんかそれっぽい効果音。

しかし跳ね返されてダメージを負う4人（亘だけは周りの様子を見てから少し遅れて反応する）

4人　わああああっ！

倒れ込む4人

踊り子　さすが魔王……

魔法使い　勝つこないよ、こんなの……

勇者、立ち上がる

踊り子　だめよ！ここは一旦退いて様子を見ましょう

魔法使い　そうだよ！こんな相手、レベチじゃん！

僧侶　……む、無理は良くない……

勇者　だめだ！こんなところで引き下されるか！

魔法使い　でも……

勇者　ここで退いたら……顔向けできないじゃないか！死んでった仲間たちに！

僧侶　……（だめだこりやという顔）

勇者、空を見上げて

勇者　俺たちは今、共に旅をしてきたすべての仲間たちと一緒に魔王の前に立っているんだ！志なればで散っていったみんなの意思を、熱い魂を、俺たちの手でぶつけなくちゃいけないんだ！はあああああ！

魔王に斬りかかる勇者

なんか変な効果音がして、一瞬「え？」という顔になるが、なんとか持ち直しこう着状態に。

勇者　う、うおおおおお

勇者の姿を見て、力を貸す女子二人

入る隙間がなくてポジションを頑張ろうとしている僧侶

勇者　お、お前たち……！

踊り子 一人ずつの力では足りないかもしれないけど
魔法使い 全員で力をあわせれば……!!

勇者 いくぞ!

3人 うおおおおおおお!!……(魔法使いだけは明らかに棒読み)

飛川 はい止めます。

演出席の飛川が手を打ち鳴らし、シーンを止める。

隼人 どうでしたか!?俺の熱演?(剣を振って)はあっ!はあっ!はあっ!

深山 はい隼人くん調子乗らない。演出の話聞く。

隼人 今回いけたと思うんすよね。長セリも決まってたし、技名もそこそこのいい感じに

飛川 うるさい。

隼人 え?

飛川 うるさいっつってんだよ。お前はいつも俺の話も聞かずにシーン終わった途端にへちやくちやくちやくと。

深山がやめろっつったのも聞こえなかったのか?

隼人 ちよっとうまくいってテンション上がっただけじゃないっすか……

飛川 うまくもいってねえから。あーさ、俺何回も言っただろ?57ページ6行目「ためだ!」は前のセリフを食っていけて。

この下手くそが。

隼人 それは……

つばめ 私のセリフの「レベチ」がおかしくて笑い堪えてるんじゃないですか?

隼人 そうそう、あそこちよっときー

飛川 自分でおかしいと思っただけなら言い方変えろ。

つばめ いや言い方じゃなくてセリフ自体が……

飛川 つばめ、お前、なんだ。……やる気あんのか?

つばめ え。ありますけど。

飛川 こもってないんだよ。特に「はあっ」とか「やあっ」とか。全部棒。

つばめ それは……

飛川 あと音響

音響 はい。

飛川 なんであそこでミスるかな!一番大事なところだろうが。え、なにさっきの♪(サンプラーを横から押す)こんな音使

わねえだろ

別現場のが混ざっちゃって……

飛川 はあ?言い訳になるかさそんなもん!別現場の音なんて消せ!消してもってこい!オールデリート!

深山 いやそこまですななくても

音響 う、ううううあああ……(子供みたいに泣く)

飛川 なんだよ!いい年してみつともない!

深山 はいはい、大丈夫、落ち着いて、落ち着いて。

飛川 ほっとけ。ダメ出し続けんぞ。えーと……あーもう何から手つけていいかわかんねえな……お前らわかってるか?演劇祭

まであと1週間……

飛川が台本から目を見て舞台上を見るとつばめが顔を伏せている

飛川 はあもう、なんだよ、お前まで泣いてんのか。
つばめ 泣いてないです……
飛川 泣いてんじゃねえか
つばめ 泣いてない！キレてんの！！

一回びっくり

つばめ なんなの！？私たちだって頑張ってるじゃん！自分ばかり頑張ってるみたいな顔してさ。偉そーに
飛川 偉そーだったって、俺主宰……
つばめ だからって言うっていいこと悪いことがあるんじゃないですか？あまりにもひどい言い草だと思っただけ！
飛川 べ、別に、俺はダメ出ししてるだけで……
つばめ 言葉選べって言うてるんですよ！暴言ですよ！やる気ないとか。大根役者とか。役立たずとか親のすねかじりとか！
飛川 誰もそこまで言っていないよ？
つばめ 私！こんな劇団無理です！やめます……！

つばめ、走って出ていく

隼人 あ、ちよつとつばめちゃん！
飛川 ほつとけ！新人！
隼人 飛川さん！これだけは言わせてもらいますけど！
飛川 な、なんだよ！
隼人 「アースウィンドアンドファイア」は技名じゃなくてバンドの名前です！

走って追いかける隼人

飛川 隼人！おい！……くそっ…………。バレてたか。
深山 いやバレてたかじゃないですよ。
飛川 世代的に知らないかなと思っただけだな
深山 今そこ問題じゃないですよ。どうするんですかこれ。
飛川 な……。どうすんだろな……。
深山 他人事か！ただでさえ団員少ないのに……わかってます？つばめちゃんメインヒロインなんですよ！？
飛川 いいよ！俺がやるよ！ヒロイン。
深山 いや……！！！！（この世の終わりみたいに叫ぶ）
飛川 そんなに！？
深山 もう！現実逃避してないでちゃんと考えてください……！
飛川 だって……俺だつてもうどうしたらいいかわかんねえんだよ。甘やかしたら舐められるし、変な嘘つかれるし、無関心ほくしてたらそれはそれで何故かキレられるし。じゃあ厳しくしてみるか？って試したらこれだろ？
深山 そんな恋の駆け引きみたいな。
飛川 恋の方がよっぽど簡単だよ。一対一だもん。俺には無理だよ。一人で劇団仕切るなんて……
深山 また始まった。そんな一度や二度の失敗で投げやりにならないでくださいよ。
飛川 一度や二度じゃないじゃん！だって……これ何回目だよ！本番直前に劇団員がやめるの……

回想。やめていった劇団員たちが舞台上に出てくる

団員1 自分にはこの劇団ぬるすぎるんで、やめていつすか？
団員2 もしもし……今、急な体調不良で緊急搬送されてるんで本番出られません。
団員3 あなたとなんてもうやってられない！
団員4 見えちゃうんです……飛川さんの後ろに……青白い顔をした……ああっ！！（顔を手で覆う）というわけで。
団員たち さよならっ……！

走り去る団員たち

飛川 はあ……

深山 まあ今まで人の引きが悪かったっていうのもあると思いますよ。

飛川 ちがうよ……俺にはむいてないんだよ……戻ってきてくれよ……

深山 そんなこと言ってたって仕方ないでしょ？とにかく追いかけたらどうです？隼人くんだけに任せてる場合じゃないでしょ
飛川 いいだろ、あいつら元々大学の先輩後輩なんだし。

深山 かわいい後輩紹介してくれた隼人くん裏切るんですか？

飛川 裏切ってるのはあつちだろう！衣装もできる可愛い女の子がいるんできゃあ言っつて、あいつ自分の分の衣装だけ頑張っつて、

他のめっちゃくちゃじゃないか。

深山 まだ途中だっつて言っつてましたよ。

飛川 後1週間だぞ！？こんなん仕上がりはないっつて……

深山 まあつばめちゃん辞めちゃつたらそもそもこのままの衣装でやるしかないですけどね。

飛川 ……深山あ……

深山 だから！さっさと追っかけて、ですわね！

飛川 でもあんまりしつこくしてもさ、最近怖いじゃんー若い奴らめっちゃ訴えるじゃん。パワハラだセクハラだっつて。俺やだよそんなところで有名人になんの……

深山 じゃあ私がいつてきますよー！

立ち上がる深山と亘

飛川 いいよ！いいよ！……ちよつと待っつて。もうちよつとなんか……なんか考えるから……ちよつと今もうぐちゃぐちゃなんだ

っつて俺も……

深山 ……あーもうっ……

深山はその場に座り、亘は迷った末、「仕方がないか」と様子を見にでて行く

深山 ……とりあえず音チェックだけ済ませよう。酒場のシーンの音ちようだい。

音響 はい……

カランカランと酒場のドアが開く音のBGM

それはホール近くの喫茶店の音とリンクする。

喫茶店に駆け込み、一人席に座って顔を伏せているつばめのところに隼人と亘がやってくる。

隼人 つばめちゃん、ハニィごごっ。

つばめ ……。

隼人 座るよ？

隼人と亘、それぞれ席に着く。

隼人 ……大丈夫？

つばめ 大丈夫……じゃないですよ。ひどいですよ。先輩のこと大根だの何だのって……

隼人 ……あ、あれ、え、俺！？言われたつけ……

つばめ ていうか先輩、いつまでそんな布切れつけてるんですか？芝居中じゃあるまいし。

隼人 布切れって……マントでしょ、一応

つばめ まだなんも縫ってないんだから、ただの布切れですよ。

隼人 きみ、本番1週間前の衣装担当だよね……？

つばめ なにか！？

隼人 いえ……何も……

なんだか空気の悪いまま黙り込む二人。

つばめ フラッペーノ

隼人 え？

つばめ 限定のフラッペーノ。飲みたいです。

隼人 あ、はい。

隼人、立ち上がる

つばめ 一番大きいサイズで！

隼人 ……はいはい。

隼人、注文しに行く。

残されたつばめと亘、何も会話しない。

つばめはスマホを取り出し、なにやらかきこもつとしている

つばめ ムカつく。なんて書こうかな……ああいうのってなんていうんだろ。パワハラ？

亘、「いけないよ」というように慌てて首を横に振る

つばめ こういうのピンスタに書き込めばいいの？ライターの方がバズるかな……

亘、どうやってとめようかおろおろした末に、立ち上がって自分の座っていた椅子を倒す。

つばめ きゃっ！え、ちよつと、なに！？

亘 いや、その……それは君のためにもならないよ……

つばめ、訝しげに亘の方を見ながら椅子を起す。

亘 あ、ああ……ごめんね。

亘 椅子に座り直す。

そこに隼人が帰ってくる。手に持ったトレイの上には二人分の飲み物。

“一番大きなフラッペーノ”が本当に大きすぎて、ヨタヨタしながら歩いてくる。

隼人 …… ねえだいたい大きいけどこれでいいでしょう……

また歩いている途中の隼人の元にツカツカと歩み寄り、トレイからフラッペーノをとってすごい勢いでストローをすうつばめ

隼人 あ、合ってた。

つばめ プハー。

隼人 落ち着いた？

つばめ 落ち着きはしませんが、機嫌はちよつと治りました。

隼人 よ、よかった。とりあえず座ろうか。

席に戻りつつフラッペーノをすすり続けるつばめ

つばめ すごい、本当にプリンアラモードみたい。

亘 えっ！（フラッペーノを食い入るように見つめる）

隼人 なんかすごい人気らしいね。

つばめ 5年ぶりの復刻フラッペーらしいですよ。

亘 やっぱそうだよねえ！？（すごい羨ましそうにフラッペーノをみる）

つばめ 飲みます？

隼人 え？

亘 いいの！？

隼人 でもそれだと間接キスに……

つばめ 冗談ですよ。

隼人・亘 ですよー

またフラッペーノを飲み始めるつばめ

隼人 ……ほんとにやめちゃうの？

つばめ そう言ったじゃないですか。

隼人 もうちよつと考えてみてもいいんじゃない？

つばめ 別に私一人いなくなったって大丈夫でしょ。

隼人 そんなこと……

つばめ 私以外にもいたんですよ？本番前にやめた人

隼人 噂でしか知らないけどね。俺の入る前のことらしいから。

つばめ そりややめますよ。あんな意地悪座長がいたら。

隼人 入った時は優しい良い人と思ってたんだけどね……。

つばめ 先輩ってほんとうつけ者ですよ。

隼人 つばめちゃん、そういう言葉のバリエーション豊富よね。

つばめ 私も最初は人当たり良さそうだなって思いましたよ。でも稽古始まったらどんどんキツくなってきたじゃないですか。

隼人 演出だもん、多少厳しいことも言ったりはするって。
つばめ 厳しい？もうハラスメントですよあんなの。

隼人 そんなつもりで言ってるんじゃないと思うよ。飛川さん、根は優しい人だから。
つばめ 根が優しい人はあんな意地悪はつか言いません。

隼人 あれだよ、今回はちよつと調子悪いんだって。本番も直前だし。
つばめ それ言い訳になります？

隼人 焦ってるんだよ。あの人が一番、時間ない時ってイライラして周りが見えなくなることもあるじゃん。座長も人間だから。そう、生きてる人間だから！

つばめ そんなん、なんでも許さないといけないじゃないですか。
隼人 いろいろあるんだよ。生きてる人間だから。

つばめ なんですかそれ
隼人 それ？

つばめ 「生きてる人間だから」って。
隼人 ああ、そういうセリフがあつたんだよ。

つばめ 芝居のですか？
隼人 そうそう。練習用につかつた台本だったんだけどね。なんか異様に心に刺さってさ。いつのだったかな。あれは確か

深山 もう5年ですよ！

舞台、戻る。

深山 5年もやってたらもう立派にベテランでしょう。

飛川 つていつてもさあ。俺、2代目だもん。
深山 アマチュア劇団の座長に初代も2代目もないでしょう。

飛川 でも……あいつが座長の時はうまくいつてたじゃん……
深山 はい、うにやうにや言わない！とにかく今どうするか！かんがえますよ！！
飛川 つていつてもさあ……

二人、しばし、黙り込んで考える

飛川、パラパラと脚本をめくってからはたと閉じて

飛川 決めた。

深山 何か思いつきました？
飛川 うん、これしかない。……今日から君がヒロインだ！（音響を指差し）

音響 （思わず立ち上がる）はい……いや、私音響……
飛川 音響兼、ヒロインだ！

音響 無理ですよ！
飛川 無理じゃない！

音響 無理ですよ！私（演出マイクを持って）「勇者君になら運命、預けられるかも……なんちゃって」なんてセリフ恥ずかしすぎて言えませんか……！
飛川 わ、お、お前、それ改稿前のボツセリフだろうが！掘り返すな！

深山 改稿前？
飛川 そうだよ！スタッフにだけ渡してたの！酒飲んだ後のテンションで書いたけど「ないわ」って思っ……

深山 それだ。

飛川 へ？

深山 それではよ、飛川さん！

飛川 ……え！？このセリフ生き！？

深山 違いますよ！改稿しましょう！台本！

飛川 はああ！？

深山 ばっ！ん！と！ね？つばめちゃん、台本に不満がありそうだったし……直せば「君の意見をきいたよ」って姿勢を見せることにもつながるじゃないですか？

飛川 そんな問題か？

深山 そもそも私もこのままでは良くないと思うので手直ししましょう！

飛川 えええ、今更そんなこと言うなよ。傷つくわー。

深山 そう思ってみんな言わなかったんです！とはいえやっぱり言わずにはいられないレベルでこれはひどい！ひどい！

飛川 まず飛川さん、ずばりききますけど……ゲームしたことないでしょ？

深山 そんなことないよ！やってるよ！人並みには！

飛川 なんのゲームですか？

深山 え……ほら「はじける！けだもの森」とか「THE 農園」とか。

飛川 けだもり！？あの、ちっさいキャラクターたちとほのぼの暮らす？

深山 そうだよ。

飛川 かわいっ！

飛川 いいだろ別に！おっさんが「けだもり」やっても！

深山 というかなんですか「THE 農園」って。

飛川 農園を経営するんだよ。楽しいぞー。生育てたり、作物育てたり……

深山、面白くなさそうという顔

飛川 リゾート開発したい業者とのバトルとかもあって、負けたら取られるの。

深山 楽しいんですかそれ？というか、ほら、全然RPGじゃないじゃないですか。

飛川 RPGもやってるよ

深山 なんですか？

飛川 星のパーリーとか

深山 それRPGじゃない！アクションゲームっていうんです！

飛川 詳しいな。

深山 常識です。ほら知らないんですよ？いわゆるドラボンクエストとか、ファイナルファンシーとか。

飛川 知ってはいるけど……

深山 やったことはない。

飛川 苦手なんだよ、ああいうコマンド選択系。

深山 だったらもう少し書くときに周りを頼りましょうよ。

飛川 なに？具体的にどこがおかしいの。

深山 まずは技名

飛川 アースwindアンドファイアか

深山 それもですけど。勇者が魔王に最初に使うのが「ファイナルアルティメットソード」って。「ファイナル」って！「アルティメット」って！

飛川 別におかしくないだろ。

深山 一発目でそれ出してどうするんですか。たおせなかったらもうダメでしょう。

飛川 あ、そうか。

深山 それに勇者はこんな初手でそんな技つかわないんですよ。使うなら本当に最後、ラストのラスト。

飛川 うーん……

深山 ほんとに……飛川さん、勇者のあり方をまるでわかってない！

飛川 勇者のあり方？

深山 たとえば33ページ！メインヒロインの魔法使いが怪我をおって「私は大丈夫……ヒーリング魔法でなんとかするからあなたには先に行って！」って健気に言うでしょ？その後、勇者、なんて言います？

飛川 「わかった！」

深山 いや「わかった」じゃないわ。

飛川 え、だめなの

深山 手負いの女の子モンスターの前に置いてく勇者がどこにいるの？

飛川 だって自分で回復できるならそうしてもらった方が合理的じゃない？

深山 はい次42ページ。新しい魔法を覚えた魔法使いのセリフ。「ここまでレベルをあげて覚える魔法がただ花を咲かせるだけの魔法だったなんて。忘れた方がいいわよね。こんな攻撃にも回復にもならない魔法。」

飛川 「覚えておいてもいいんじゃないか。」

深山 「えっ？」

飛川 「いざという時、食べられるかもしれない」

深山 はい、なし。

飛川 画期的な活用法だろ？

深山 せっかく「なんか素敵な感じの魔法」覚えてたんですよ！ときめきチャンスでしょうに！

飛川 ときめきチャンス？

深山 こう言うのを「心を豊かにしてくれる素晴らしい魔法」とかなんとかって認めるのが人格者ってもんじゃないんですか？
飛川 おお、それいいな。採用。

深山 じゃあヒロインもヒロインで何！？「確かにっ！……確かに！？バカなの？」

飛川 じゃあどうしろっていうんだよ。

深山 とにかく……

つばめ とにかく、あんな脚本じゃ私、演技しようにもできません。

隼人 え、じゃあ本変わったらまた戻ってもいいってこと？

つばめ そ……そうとはかぎりませんけど！でもそういう意見を聞いてくれるなら少しは考える余地あるかもって……

隼人 まじで！？

つばめ いやーそれだけじゃなんとも言えませんけどね！例えば！例えばの話としてですよ？

隼人 ……とはいってもなあ……この段階で本変えるなんて選択、飛川さんは絶対しないだろうし……

つばめ ほらね！

隼人 いや、しないつていうか無理だと思っ。

つばめ 無理？

隼人 覚えてるでしょ。飛川さんの筆の遅さ。

つばめ そうだ！それも腹立ってきた！脚本仕上がったのこの間じゃないですか！稽古開始3ヶ月前ですよ！？2ヶ月前、話のオチも分からず宙ぶらりんにされて……人に偉そうに言う割に全燃やる気なくないですか！？

隼人 やる気がないわけじゃなくて、ただ慣れてないんだよ。

つばめ どういうことですか？

隼人 俺が入団したの2年前でしょ？で、今回が初めての本格的な公演んだけど。それまでも一応小さい公演？っていうか身内向けの発表会みたいなのはやってたじゃん？

つばめ ああ、あのなんか隼人先輩と深山さんの2人劇？

隼人 そうそう。

つばめ あれは面白かったですよ。演技はぼちぼちでしたけど、台本はよかったです。

隼人 はつきり言うね……まあ……そりゃそうだよ。あれ最近戯曲賞とった新人作家の作品だもん。

つばめ そうなんですか？

隼人 うん。あの公演も含めて練習に使った台本も全部既成で、オリジナルのはなかったんだよね。確か。

つばめ え？じゃあ書くの今回が初めてってことですか？

隼人 なんじゃないかな？俺の知りうる限りでは。

つばめ でも座長、フライヤーズは旗揚げからずっと本公演はオリジナル作品って言ってませんでした？

隼人 うん。だから作家がいたはずなんだよ。

つばめ その人も飛んじやったってことですか？

隼人 詳しくはわかんないんだけど……

隼人が頭をかきながら目を背けた先には耳。

耳、そつと目を伏せる。

隼人 (軽くため息をつき) 誰も教えてくれないから。あ、でも名前だけはわかるよ。

つばめ なんて人ですか？

隼人 えーと……ちよつと待ってよ。(スマホを触って) 劇団サイトの……

つばめ うちの劇団、サイトなんてありましたっけ？

隼人 もう何年も更新されてないけどね。あ、あった。過去公演情報。えーと……なんとか・フライヤー。

つばめ なんとか？

隼人 漢字が難しいんだよ。これ。読める？

スマホをつばめに渡す

つばめ、スマホをいじりながら

つばめ えー。なにこの字。

隼人 つばめちゃんでも読めないか……ああ、でもそうか。それでフライヤーズ。

つばめ フライヤーさんと、その仲間たちってことですか。

隼人 なんだろうね。

つばめ にしたつてあんまり良くない名前ですよね「劇団フライヤーズ」って……

隼人 そう？

つばめ フライ……『飛ぶ』なんて芝居するのに全然いい意味くないですか？セリフが飛ぶとか、段取り飛ばすとか

隼人 そ、そんなことないよ。幕を飛ばすとか！あ、拍手が飛ぶとか！

つばめ 人が飛ぶ、とかね。

隼人 う……

つばめ あ、ありましたよ。この字。東？に鳥とかいて

飛川 ツグミだよ。

舞台、ホールに戻る

飛川 そうだ思い出したーそんなこと言うのお前以外あいつしかいないわ。……もうお前が書けば？
深山 嫌です。1から書くなんて無理無理。

飛川 俺だって無理だよー

深山 書いてきたじゃないですか。何本も。

飛川 あれはツグミ大先生が「モッズも書いてよ！」ってうるさいから……

深山 楽しそうに書いてるように見えましたけど？

飛川 書いてる時はな？筆がのつてきたら「俺天才かもしれん」とか思ったりしてき。でも書き上げたものを見せるとあいつ
いっつも言っただよ。

飛川・深山 「この本には人間がない」

飛川 なんで？いるじゃん。むしろ人間しか出てこないよ俺の本。犬とかお化けとか妖怪とか、出したことないじゃん？

深山 ええ？そこからですか？

飛川 なんだよ

深山 あのね飛川さん。そういうことじゃなくて。人間としての、こゝろ、整居性がないって意味ですよ。

飛川 せいご……え。え、ちよつとほんとにわかんない。

深山 だから！登場人物がみんな本のためのコマにしかなくてないんです。ストーリーの進行のためにセリフをいって、進行のために動いてるってことです。だから人間味もないし、キャラクターに芯も厚みもない。生きてる人間に見えないって言うてるんです！

飛川 所詮架空の人間なんだから。そこに人間味もなにも

深山 はい！飛川君に問題です！

飛川 え、なにいきなり

深山 まずはこちらのシーンをご覧ください。

喫茶店側の3人。

トレンディドラマっぽく演じる

サラリーマンの夏川ナツオ(隼人)はアキヤマ(巨)に説教されている

アキヤマ どうしてくれるんだ夏川！取引先、カンカンだぞ！

ナツオ すいません！最近、残業続きで睡眠不足で……

アキヤマ 言い訳するな！残業が多いのは！お前の働きが！悪いからだろうが……！

深山 そこにナツオの彼女・ハルコから電話がかかってくる。

ナツオ あ、ハルコ……ちよつとすいません。

アキヤマ はあ？お前、この状況……

ナツオ (電話に) どうした？

ハルコ(つばめ) ナツオ、昨日なんの日だったか覚えてる？

ナツオ え、えーと……昨日は2月の……

ハルコ 2月2日。私たちが付き合ってから5回目の記念日！

ナツオ あ……そうだ。ごめん、昨日は俺……

ハルコ また残業？去年のクリスマスもそうだったよね。映画の約束の日もそうだったー今まで「仕事なら仕方ないよね」って
ドタキャンも笑って許してきたよ？でもさ、この日だけは空けといてって随分前にお願ひしてたじゃない！

ナツオ ご……ごめん……でも俺……

空港の呼び出し音

ナツオ ハルコ？今どこにいるんだ？

ハルコ 空港。

ナツオ なんてまた

ハルコ 私、留学することに決めたの。

ナツオ りゅ、留学！？

ハルコ 前からパティシエになりたかった！フランスに行きたいの！……これ以上あなたのために我慢できない！さよなら！

電話、切れる。

ナツオ ハルコ？おい、ハルコ！……そんな、フランスなんて……

アキヤマ、ナツオの肩をポンと叩く

ナツオ アキヤマ部長。

アキヤマ 中央国際空港発、フランス行き次のフライトは2時間後。今からタクシー飛ばせばなんとか間に合う。

ナツオ え？

アキヤマ 仕事は！その彼女より大事なもののなか？

ナツオ ……はい。

アキヤマ この馬鹿野郎！

ナツオを殴るアキヤマ

ナツオ いたいっ。

アキヤマ お前はいつもそうだ！目先のことに囚われて、一番大切にすべきことを見逃してばかりいるからうまくいかないんだよ。仕事も……恋愛も！

ナツオ 部長……俺、間違っていました。

アキヤマ 早くいけ。これ以上、なにも逃すんじゃねえ！

ナツオ ありがとうございます……！

走り去るナツオを見送り

アキヤマ なんだよあいつ。俺の若い頃にそっくりじゃねえか。

深山 ここでクエスチョン。

深山の合図で音響「デデン！」と出題の音を鳴らす。

喫茶店の3人、元の位置に集まってきて、並んで話を聞いている。

深山 今を見て、どう感じましたか？

飛川 どう……そりゃあ……部長、いい人だなんて。

深山 あんたはサイコパスか!!
飛川 な、なんでだよ

深山 じゃあ質問変えます。今のに対するツッコミのころはどー?
飛川 ツッコミの……あ。一晩でフランス留学の準備をするのは不可能!

深山 それもそうだけどもっとーそれ以前にあるでしょー山ほどーナツオ!あのタイミングで彼女からの電話とるな!ハルコ、

夢の話唐突すぎ!部長!前半と後半でキャラ変わりすぎ!!何より飛川さん!

飛川 俺!?

深山 こんなメチャクチャな話を食い入るように見るな!それなりに感動するな!

飛川 でもよくあるじゃんこういうドラマ

深山 飛川さん、さめないんですか?こういうの。

飛川 深山はさめるの?

深山 さめます!超さめます。小1時間無気力になるくらいさめます!

飛川 そこまで!?

深山 そりゃね、こー言うのが好きな人も一定数はいるんだろーし、書いてる人もある程度狙ってるんだと思います。でも、表

現する側の人間がこれを納得して見てちゃいけないと思っんですよ、私は。

飛川 そうか?俺はこ都合主義も嫌いじゃないよ?

深山 程度つてもんがありますよ?ここまでいくと見てる人だって気持ち悪いし、違和感おぼえながら演じるなんて、役者にと

つちやとんでもないストレスですよ。

飛川 喫茶店チーム、うんうんとうなすく。

(その後、やれやれと言った感じで元の席に戻る。)

深山 現に今回は役者から演じにくいって意見が出てるわけですから!キャラがブレてるところだけでも修正していきましょうよ。

飛川 つて言ってもなあ……もう根本的な話じゃんそれって。

深山 簡単ですよ。人間を書けばいいんです。飛川さんだつて前はできてたじゃないですか。

飛川 前つて?

深山 ほら、あれとか。練習の時に一回使った……

飛川 あれはため。人の前に出すような仕上がりじゃない。

深山 私は結構好きでしたよ?あれだけじゃなくて、前の飛川さんの作風、全体的に。

飛川 やだよ、あんな暗いの。それに、前から見てくれる人たちが劇団フライヤーズに求めているのはファンタジーだろう?

深山 周りのことなんて気にしないでいいんですよ。今の座長は飛川さんでしょ?飛川さんの劇団なんですよ?

飛川 俺の?

深山 そう!これからのフライヤーズは飛川さん次第でどんな風にも変わるんですよ。

飛川 そうか……そうだよな。

深山 そうですよ!

飛川 その結果がこれつてことだよな。

深山 えっ

飛川 団員も多くて賑やかで、脚本も面白いから固定のファンだつて増えてきてた。そんな劇団が今はこつだ。

深山 それは……今はまだ転換期で、なかなか落ち着かなかつたし当然ですよ!やつと久々の本公演ができるんですから……

飛川 その本公演もこんな状況だろう。

深山 ……

飛川 ……俺つてつくづくだめ人間だな。

深山 またそんなこと……

飛川 あいつみたいに面白い本は書けないし、あいつみたいに人をまとめることもできない。フライヤーズは終わってたんだよ。あいつがいなくなった時点で……俺じゃダメなんだよ。

深山 ……

飛川 ……もう、飛んじやおうか

つばめ はい。一緒に飛んじやいましょう！

喫茶店 元の3人に戻っている。

隼人 うーん。

つばめ わかんないなあ。なにを悩むことがあるんです？っていうかそもそも、先輩はなんでこんな劇団入ったんですか？

隼人 こんな劇団って

つばめ だって公演、積極的にやってるわけでもないし、団内環境は最悪だし、オリジナル本かける作家だって先輩入った時にはもういなかったわけでしょ？

隼人 正式な団員は飛川さんと深山さんだけだったからね。あとはヘルプの人？音響さんとか。

つばめ 前の公演何かで見たとかですか？

隼人 いやーそうでもなくて。まあ強いて言うなら

つばめ 強いて言うなら？

隼人 稽古場が学校から近かったからかな？

つばめ ええ！？そんな理由！？

隼人 最初はね。で、見学にいったって、稽古体験させてもらって。そんな時すごく楽しかったの。みんな一生懸命で、年離れてる俺にも優しくしてフレンドリーで。

つばめ はいはい、そうやって騙されたわけですね。で、私もそれに巻き込まれた、と。

隼人 つばめちゃん

つばめ、立ち上がる

隼人 ちょっと。どこ行くの。

つばめ トイレです。

つばめ、スタスタとトイレへ

隼人 ……まあでもつばめちゃんまだ飛川さんと付き合い浅すぎるし……信じろって方が無理か。難しいよなあ、人間って……

亘 生きてる……人間だからね。

隼人 あれ？そっいえばあの本……！

隼人、スマホを取り出して何かを検索し始める。

スマホに夢中の隼人。

一人取り残された亘、手持ち無沙汰になって、ふと目の前を見るとつばめが残っていたフラッペーノが。

店員の声 「限定フラッペーノ、完売いたしました！ありがとうございましたー」

亘 ……えっ……

そわそわする亘。

つばめが帰ってこないか確認しつつ、隼人に気づかれないようそっとフラッペーノに手をかける。
ストローに口をつけようとして一瞬躊躇する。

亘 隼人くん、ごめんな。

ストローをしっかりと拭いてからフラッペーノを飲み、美味しくて悶絶。

亘 んーっ！めっちゃプリン……！！

隼人 あっ……！！

亘、びっくりしてフラッペーノを落としてしまう

あたふたするがどうしようもできない亘。

隼人 あった。これだ……

そこにつばめが戻ってくる。

隼人 つばめちゃん、台本変わったら戻ってくれるんだよね？

つばめ いや、だからそれは例えであって……

隼人 まあいいや、とりあえずホールもどろろ。

つばめ ちよつとなんですかいきなり……ってうわ！先輩……！！

隼人 えっなに……！

つばめ フラッペーノ！こぼしたんですか……！

隼人 ん？あれ？なんで？

つばめ こっちが聞きたいですよ……！

隼人 ごめん、また奢ってあげるから。ちよつと一緒にきて

つばめ 奢るったつてもうどこも完売……

隼人 ほら、リハ時間終わっちゃうから。早く。

つばめ やだー私戻りたくないんですつてば……！

強引につばめを連れていく隼人。

二人を見送ってから、亘

亘 ……すまない。若人……！！

追いかけて去る。

ホール。重い空気の中、深山が口を開く

深山 ……飛ぶつて、演劇祭を、ですか？

飛川 別に俺だけでもいいよ。そっだそれがいいよ。劇団はお前が続けろよ。俺が辞めれば戻ってくるだろ。つばめも。隼人も。隼くんは辞めるなんて

飛川 でもいずれそうなるだろ。座長のせいで後輩も辞めて、空気もこんなで……今回、俺は役者じゃない。お前らがいれば演劇祭だってなんとかなるだろ。

深山 ……それじゃ意味ないだろ。

飛川 え？

深山 書いたお前がいてくれなきゃ、作品は完成しないじゃねえか!!

飛川 深山

深山 5年前、飛川さんが言った言葉でしょ。もう忘れたんですか？

飛川 でも結局、あいつは当日いなかったじゃねえか

深山 状況が違うでしょ！それはツグミさんに失礼です！

飛川 ……

深山 ツグミさんは……亘さんは、来たかったんですよ。本当は。最後の最後まで諦めてなんてなかった。でも、現実はい

ってことも自分自身でよくわかってたから、せめてみんなには迷惑かけまいって……

飛川 深山。もういい。ごめん。俺が悪かった。

そこに駆け込んでくる隼人とつばめ。

深山 諦めて投げ出して自分だけ逃げようとしてるあんたど……

少し遅れて入ってくる亘

深山 悔しいのを堪えてリタイアする覚悟を決めた亘さんを一緒にするな……!

飛川 (戻ってきた二人に気付き) ……お前ら……

隼人 あ……すいません。あの。えっと。

深山 あ、ご、ごめん。なんでもないの。つばめちゃん、ごめんね。さつきは。

つばめ ……別に。深山さんが謝ることじゃないですけど……

深山 隼人くん、説得してくれたの？

隼人 そのこと……なんですけど、提案っていうか、考えたことがあって。

つばめ ちよつと先輩。私は……

隼人 『生きる人間として』

飛川 え？

隼人 練習で一度だけ使った本ですよ。ラスト、「生きてる人間だから」って繰り返すやつ。

飛川 あ、ああ。あつたかなそんなの。

隼人 ネットで拾ってきた本だつて飛川さんが言ってたから探したら確かに出てきました。無料脚本公開サイトで。

飛川 これ、この本。演劇祭で使いませんか？

つばめ ……え？

飛川 先輩、なに言つて……

隼人 これ、男1、女2の3人芝居です。ちよつと良くないですか？一生懸命、新作かいてくれた飛川さんには申し訳ないですけど、この本なら俺たち、納得して舞台に立てるつて……

つばめ 待つてくださいよ。あと1週間ですよ。どうやって仕上げるんですか。

隼人 それでも、このまま今の本をやるよりちゃんと仕上がるつて俺は思っんですけど……

飛川 隼人。お前が今回の本、よっぽど嫌いなんだつてのはよくわかった。

隼人 別にそう言っつもりじゃ
飛川 でもな、つばめの言う通り、1週間であんなだけのセリフを覚えて作り直すなんて無理がある……
隼人 生きてる人間だから！

飛川 ！
隼人 計算通りにいかないことがある。生きてる人間だから、前に進めなくなることもある。それでも僕らは生きてる……
深山 生きてる人間だから、生きてる人間だから、後ろに戻ることもできないから。とにかく生きる。足踏みしてでも生きる。きつといつか一歩踏み出せる日がやってくるから。生きてる人間だから。生きてく人間だから。
隼人 俺、2年前にやった練習台本だけど、また覚えてます。深山さんも……ですよ。

深山 頷ぐ

隼人 もう一人の女性はそんなにセリフ多くないし、つばめちゃんはセリフ覚え早いし、いけると思っんです。
つばめ でも、フライヤーズは本公演ではオリジナルの台本しかやらないって……

隼人 オリジナル、ですよ？

つばめ え？

隼人 これ、飛川さんが書いた本なんじゃないですか？

飛川 ……知らん。それはネットに……

隼人 ネットにあげたの、飛川さんなんでしょう？作者の「モッズ・フライヤー」って、飛川さんのことですよ？

飛川 誰がそんな……深山、お前か？

深山 私はなにも言ってます！

飛川 深山さんに聞くってことはやっぱりそうなんですよ？

隼人 違うー変なデマ流したんじゃないかって……

飛川 デマじゃないでしょ！まず名前、前の座付脚本家の名前「ツグミ・フライヤー」さんですよ？二人で「フライヤーズ」
隼人 だったんですよ？

飛川 偶然だろ。

隼人 それに。練習の時には気づきませんでしたけど今ならなんとなくわかります。この本からは飛川さんが溢れ出してます！

突然、かかりだす場違いな洋楽

飛川 ……音響。

音響 え。あ、すいません。あれ？

飛川 アースの曲なんてリストにないだろ！？

音響 そうなんですけど……

慌てて、曲を止める音響

その隣にはいつの間にか亘が。

飛川 とにかく、台本は変えない。誰が書いたかわからない台本で本公演なんて……

またかかりだす同じ曲

飛川 おい！！

音響 いや、私、ほんとになにもしてないんです……

飛川 はあ？
隼人 アース……あ！
つばめ え？
隼人 これ、この曲、ゲッタウェイって曲だよ、アースwindアンドファイアの。
亘 あ、そう、正解。

亘の声が音響が持っていたマイクに入る

飛川 え？今誰か喋ったか？
亘 あれ？

亘、マイクに向かって

亘 飛川くん。聞こえますか？

飛川 え…？

亘 聞こえてる！…え！…飛川くん。僕は今、あなたの脳内に直接語りかけています。
飛川 な……は？なに？みんな聞こえてないの？

一同 ……

つばめ いや、聞こえてますけど。

亘 えっ、聞こえてんの？

隼人 めっちゃ聞こえます。

飛川 聞こえてんじゃねえか！

亘 わ、すごい。マイク通せば聞こえるんだ。なんだ。こうすればよかったのか。

音響からマイクをとる亘

音響 あ、わ、ま、マイク……マイク浮いてる…！

飛川 ええ…！？

みんなからはマイクが浮いているように見えるらしい

飛川 なんだそれ！？どういう手品！？

音響 いや、私じゃないですって。

飛川 はあ？ていうかお前誰だよ！さっきから喋ってるやつ！

亘 僕が……わかりませんか？飛川くん。いや、モッズ。

飛川 ……お前……

深山 亘……さん？

つばめ 亘さんって誰ですか？

隼人 いや、俺も知らない。

深山 フライヤーズの元座長。座付き作家で、ペンネームは鶯（ツグミシ）・フライヤー。

飛川 いやありえないよ。だって、あいつは5年前に……

亘 モッズ。

飛川 5年前に死んだじゃないか！

つばめ

えっ……

隼人

し、死んだって……

亘

ねえ、僕以外に君のことをモッズなんて呼ぶ奴がいるかい？

飛川

いない。いないよ。でも俺がその名前で呼ばれたのを知ってるやつなんていくらでも

亘

『げっちゅう☆2人のラブラブ日記』

飛川

……！！

亘

『旅立ちの青い青春ロード』『ハワイアンな誘拐便り』

飛川

や、やめろ……！

亘

『キャンディみたいな夕暮れをあなたに』……

飛川

やめてくれええええ……！……わかった。認める。認めるから……

隼人

なんなんですか今の？

深山

私も知らない。

亘

学生時代のモッズ先生による胸キョン脚本集でした。

つばめ

うわあ……

隼人

いや、でも『ハワイアンな誘拐便り』はちよつと気になる……

亘

久しぶり。モッズ。深山ちゃんも。

深山

本当に、亘さんなんですか？

亘

なんだよ、君まで疑うの？

深山

だって、こんなこと……

亘

まあそうだよ。僕だって生きてたら同じ反応するだろうな。でもせつかくこうして話せるんだからさ、そろそろ信じて

飛川

……なににきたんだよ。

亘

なにしに……？

飛川

俺を助けるために化けて出たなんて言うんじゃないだろうな……

亘

ええ？

飛川

なんだよ今更。今更出てこられたって遅いんだよ。もう何人やめたと思ってるんだよ。何回挫折してきたと思ってるんだよ。

飛川

いらねえよ！幽霊の助けなんて！うちの劇団に本当に必要なのは鶴の脚本で、亘っていうリーダーなんだよ……！……俺じ

亘

やダメなんだよ……！

飛川

……

亘

……化けて出るくらいだったら、最初からクソみたいな病気になって負けてんじゃないやねえよ……

飛川

モッズ。

亘

……

飛川

亘、マイクを置いて舞台の方へ。

飛川

落ちている台本を拾い上げ、飛川を叩く。

飛川

いった……！

深山

亘さん……！

亘

勘違いするなよ。

飛川

はあ……？

亘

ずっと見てきたよ、君とフライヤーズのこと。確かに君は頑張ってた。ずっと頑張ってた。でもさ、この5年、君が君らしく振る舞っていたことがある？妙に周りに気を遣ったり、気になるのに見ないふりをしたり、あえて突き放してみたり

飛川

……君はそんなやつじゃないだろ？

飛川

じゃあどんなやつだって言うんだよ。

飛川

……

飛川

……

飛川

……

飛川

……

飛川

……

飛川

……

隼人 え。飛川さん、なんか聞こえるんですか？え？聞こえる？
つばめ いや、全然。て言うかこれ何？ドッキリですか？

深山 しつ。ちよつとだけ。二人で話させてあげて。

亘 脚本だつてそう。なんで僕の模倣はっかりしてるんだよ。

飛川 模倣なんて

亘 してるよ。僕がいなくなつてからずーっと。君こういうの苦手だつたら？

飛川 ただ、ちよつと書いてみたくなつただけだよ。

亘 あんなに何本もボツにしながら？いつもいつも頭を抱えながら？

飛川 いいだろー産みの苦しみを楽しんだつて！おかげでちゃんと一本。書けたじゃないか！

亘 かけてないよ！なんだよこれ！ひどいよ！

飛川 おまえまでいうか！

亘 君が得意なのはもつと身近な日常を描いたような、まっすぐな言葉を紡ぐことだろ？それしか書けないんだよ。

飛川 だつて、君はばかだから。

亘 ば、ばかだつて！？

飛川 そう、君はバカなんだよ。空気読めない、感情がすぐ表に出る、計算なんて到底無理。だからこそ、久しぶりに新しい子が入つてくれた時だけは、ようやく肩の荷が降りていつもの君に戻れそうだったじゃないか。

飛川 別にそんなんじゃない……

亘 それが……今度はちよつと気の強そうな子が入ってきたからって慌てて強いフリなんてはじめてき。結局また同じ失敗し

飛川 そうになつてるんだもん。せつかくうまく行きそうだったのに。みてられないよ。

亘 ……

飛川 ねえ、なにをずつと絶望してるんだよ。希望まみれたよ、君の周りは。ブレずに君についてきてくれる深山ちゃんがいて、

飛川 君の困つたところをきちんと叱つてくれるつばめちゃんがいる、君以上に君のことをよくみてくれている隼人くんがいて、

飛川 でも……やつぱりダメだよ、俺は。ダメなんだよ……フライヤーズにはお前がいないと……

飛川 死んだんだよ！ツグミも、亘も！いつまでいなくなった人間にしがみついてんだよ！生きてる人間だろー！お前は……！

亘 !

飛川 前に進めなくなつても、また一步踏み出せる日が来るんだろ？なら、まずは地に足つけて踏ん張れよ！足踏みでも、地団

飛川 駄でもいいんだよ！いつまでもふわふわしてんじゃないよ！モッズ・フライヤー……！

飛川 ……亘、俺、続けてもいいのかな。

飛川 そんなもの、僕にわかるわけないでしょ。

亘 ……

飛川 まずは君がどうしたいか、じゃないの？

飛川 俺は……俺はさ。

飛川 ああ、ストップ。続きは僕にじゃなくて、ほら。言うべき人たちに、言わないと。

飛川 そうだな。

亘 もういい？僕、そろそろ上がりたんだけど。

飛川 ……おっ。

亘、音響ブースの方に歩いていく

飛川 亘、5年も……すまんかったな。

亘 そこはありがとうの方が嬉しいな。

飛川 ああ……うん。ありがとう。

亘 いいえ。あー！なんか辛気臭いよね、BGMでもかけていくよ。こー言う時はやつぱり……

亘 再生ボタンを押すとアースウィンドアンドファイアの「sing a song」が流れる。
みんなびっくり。
音響が一番びっくりして止めようとする

飛川 あー！いい。止めなくていい……よ。お前好きだよなあ、アース。

亘 この人たちの曲聴きながら書くのを、嫌でも面白い話ができるんだ。
飛川 なるほど。

亘 じゃあ

飛川 ……おつ。

亘 あ、そうだ！

飛川 え？

マイクをとり

亘 つばめちゃん！

つばめ は、はい？

亘 5年前の心残り、晴らせたよ！ありがとう！

つばめ えっえっ……

亘 こぼしちゃってごめんね！

つばめ あああああ！！

手に持ったままになっていたカップに気づき、マイクのある方を指差すつばめ

亘 頑張れよ。劇団フライヤーズ。

マイクを置き、朗らかに退場していく亘。

会場のドアが閉まる。

深山 行っちゃったんですかね？亘さん。

飛川 そうだな。

深山 きちんと話、できましたか？

飛川 うん……いや、まだだな。

飛川、団員たちの方に向き直る。

飛川 お前ら……いや、みんな俺さ。俺、やつば演劇したいわ！台本変えるでもなんでもいいよ。今からでも、あと1週間一緒に頑張つて、楽しんでみてくれませんか……！！

頭を下げる飛川。

顔を見合わせる深山と隼人

隼人　だから、そうしましょうって言ってるじゃないですか！
深山　エンジンかかるの遅すぎ！「モツズ」さん。
飛川　隼人、深山……つばめ、ごめんな。俺、バカだから。どうしていいかわかんなかったんだ。
つばめ　そんなんいきなり言われても。意味わかんないんですけど。
飛川　だよな。
つばめ　私、納得しませんから。今日のことか、今までのことか。ちゃんと説明してもらわないと。
飛川　もちろん。ちゃんと話す。

いつになく素直な飛川に気押されるつばめ

つばめ　そ、それだけじゃ許しませんから。
飛川　そうだな。どうしたらいい？なんでも言ってくれ。
つばめ　なん……っ。じゃ、じゃあ……くれます？
飛川　え？
つばめ　限定フラッパー、奢ってください？
飛川　おう……！おういいよ！何杯でも！
つばめ　一番大きいサイズですよ！？（カップを見せて）
飛川　でっか……も、もちろん！
つばめ　言いましたね。じゃいきますよ。
飛川　え？今？本番終わってからじゃダメか？
つばめ　だめに決まってるでしょ！こうしてる間にも続々と売り切れてるんですから！またありそうなのは隣町の店舗ですね！
飛川　隣町！？
つばめ　ほら、早く！先輩たちも！

つばめ、飛川を連れていく

隼人　……本番間に合うのかなあこれ。
深山　さあ……

苦笑いしながら二人についていく隼人と深山。

アースの曲は余韻を残しながらフェードアウトしていく。
テーマ曲にのせてカーテンコール

『とばないで！フライヤーズ』了